

てがたんレポート Vol.3 No.8 (2006年8月：通巻29号)

観察コース：鳥博スタート 鳥博駐車場前の草原でバッタ類観察 親水広場のあず
まやで休憩 ミニ手賀沼わきを通り遊歩道 カップの噴水前広場でまとめ&解散

観察日時/天気：2006年8月12日(土) 10:00~12:00/晴れ

参加人数：19人

観察案内&記録：

- ・ボランティア・スタッフ(敬称略・五十音順)：伊東茂子、小泉伸夫、中野久夫、弘実さと子、古川克彌
- ・鳥博職員：岡廣志、斉藤安行
- ・実習生：榊原広子、星野房子、山本真奈美

今回のテーマ
・夏の虫をみつけよう
・虫の食卓観察
・夏の鳥の姿

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

【鳥類】カイツブリ、カイツブリ、カウウ、コサギ、オオバン、キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス(外来種や家禽)バリケン、ドバト、セキセイインコ

【昆虫】

- ・甲虫の仲間：マメコガネ、ナミテントウ
- ・チョウの仲間：モンキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、アゲハ、アオスジアゲハ
- ・ハチの仲間：フタモンアシナガバチ、ドロバチの仲間
- ・カマキリの仲間：オオカマキリ
- ・カメムシの仲間：クモヘリカメムシ、ナガメ(幼虫)、チャバネミドリカメムシ
- ・バッタの仲間：コバネイナゴ、クルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ(以上バッタの仲間)、シバズ、タンボコオロギ、エンマコオロギ、オカメコオロギ、ミツカドコオロギ(声のみ)(以上コオロギの仲間)、クサキリ、クビキリギス(以上キリギリスの仲間)
- ・トンボの仲間：アキアカネ、ノシメトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、アジアイトトンボ

【クモの仲間】

オニグモ、ナガコガネグモ、シロカネイソウロウグモ、クサグモ

【そのほかの動物】

ニホンアマガエル(両生類)、ニホンカナヘビ(は虫類)

【花】

- ・黄色：アレチマツヨイグサ、ヤマブキ(植栽)、キンシバイ(植栽)
- ・青・紫：トキワハゼ、ウリクサ
- ・赤：ムラサキツメクサ、ムラサキカタバミ、ミズヒキ、イヌタデ、ヘクソカズラ、ムクゲ(植栽)、スイレン(植栽)
- ・白：シロツメクサ、ヒメジョオン、セリ、オオアレチノギク、オモダカ、オオニシキソウ、キョウチクトウ(植栽)
- ・その他：ヨモギ(キク科)、エノキグサ(トウダイグサ科)、アレチギシギシ(タデ科)、ヤブガラシ(ブドウ科)、コゴメガヤツリ、コアゼガヤツリ(以上カヤツリグサ科)、スズメノヒエ、イネ、マコモ(以上イネ科)、ヒメガマ(ガマ科)

8月の観察アルバム



草原の中を飛んでいたアジイトンボ（腹部第9節が青色、第8節が青いのはアオモンイトンボ）



ムクドリに混じったカゴ抜けのセキセイインコ（ハクセキレイに追われていました）
* 中野久夫さん撮影



駐車場下の土手に繁茂するオオアレチノギクとその花（円内）



マダラバツタ（小型のスリムなバツタです）



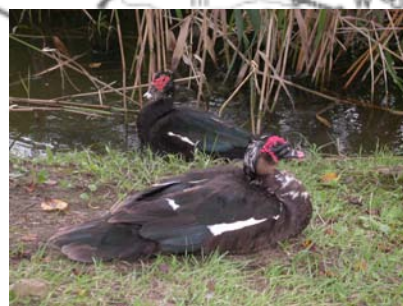
カゴ抜けのセキセイインコをみんなで観察



コスズメの幼虫（おしりのアンテナがスズメガの仲間の特徴）



オオニシキソウ（トウダイグサ科）の花（茎を折ると白い液が出る）
* 円内はコニシキソウ



雌（奥）の二倍の大きさのバリケン雄（手前）



あずまやの屋根裏にすむオニグモ（夜に網を張り活動する）



シオカラトンボの雄を食べるオオカマキリの幼虫



河童の噴水でカワセミが一休み
* 中野久夫さん撮影



棚網の上で獲物を待つクサグモ